

# 兵庫県の再生可能エネルギー 導入支援事業

兵庫県環境部  
環境政策課

## 本日の内容

- 1 本県の再生可能エネルギーの導入目標・現状
- 2 支援事業
  - (1) 地域創生！再エネ発掘プロジェクト
  - (2) ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト

## 本日の内容

### 1 本県の再生可能エネルギーの導入目標・現状

### 2 支援事業

(1) 地域創生！再エネ発掘プロジェクト

(2) ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト

# 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進



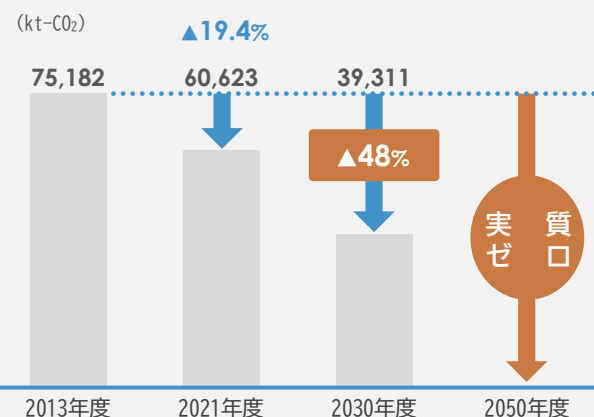
4

2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の実現に向け、地球温暖化対策推進計画(R4.3改定)において、2030(R12)年度の温室効果ガス削減目標を2013(H25)年度比▲48%、2030(R12)年度再生可能エネルギー導入目標を100億kWh(再エネ比率約30%)としている。

## 地球温暖化対策推進計画（R4年3月改定）

### 温室効果ガス削減(2030年度)

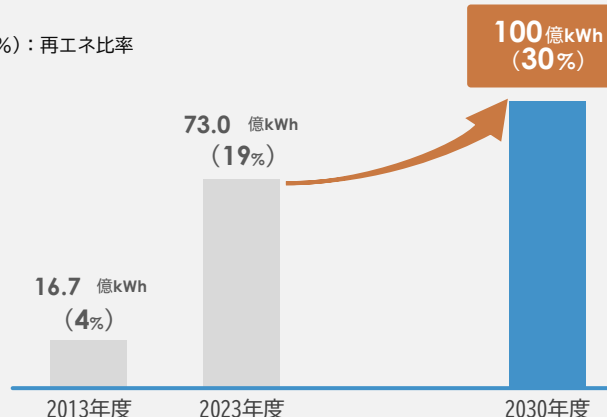
温室効果ガス削減量48%削減(2013年度比)の達成



### 再生可能エネルギー導入(2030年度)

再生可能エネルギー発電量 100億kWh(再エネ比率約30%)

(%) : 再エネ比率



## 気候変動への適応策の推進

温室効果ガスの排出を抑制する「削減策(緩和策)」を基本としながら、県民や事業者向けにフォーラム等の開催やHP等を活用した気候変動情報の提供など気候変動に関する「適応策」の取組を一体的に推進する。

### 気候変動と削減策(緩和策)・適応策の関係

※環境省資料を元に作成

**温室効果ガスの増加**  
化石燃料使用による二酸化炭素の排出など

**気候の変動**  
気温上昇、降雨パターンの変化、海面水位上昇など

**気候変動の影響**  
生活、社会、経済、自然環境への影響

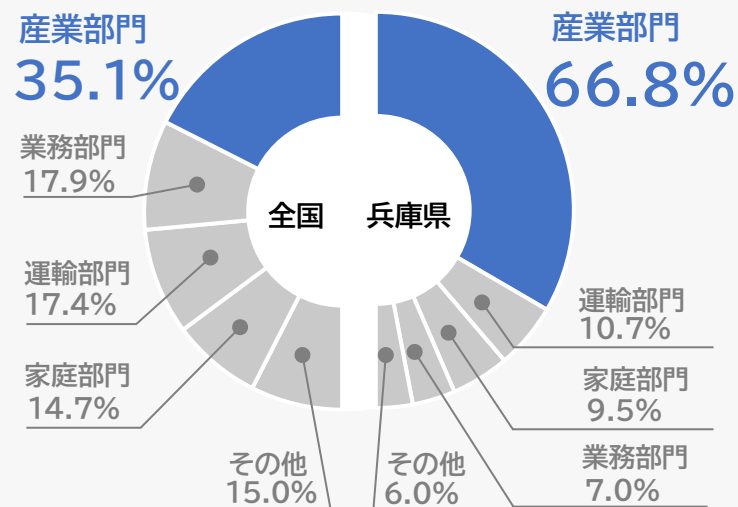
**削減策〈緩和策〉**  
温室効果ガスの排出を抑制する

**適応策**  
気候変動の影響に対処し、被害を少なくする

## 兵庫県の温室効果ガス排出量の状況

- 2021年度排出量(速報値)は、60,623kt-CO<sub>2</sub> 基準年度(2013年度比)▲19.4%。
- 本県の特徴として、産業部門からの排出量が約67%を占めており、産業部門の取組が温室効果ガス排出量に大きく影響を与える。

温室効果ガス部門別排出量(2021年度)

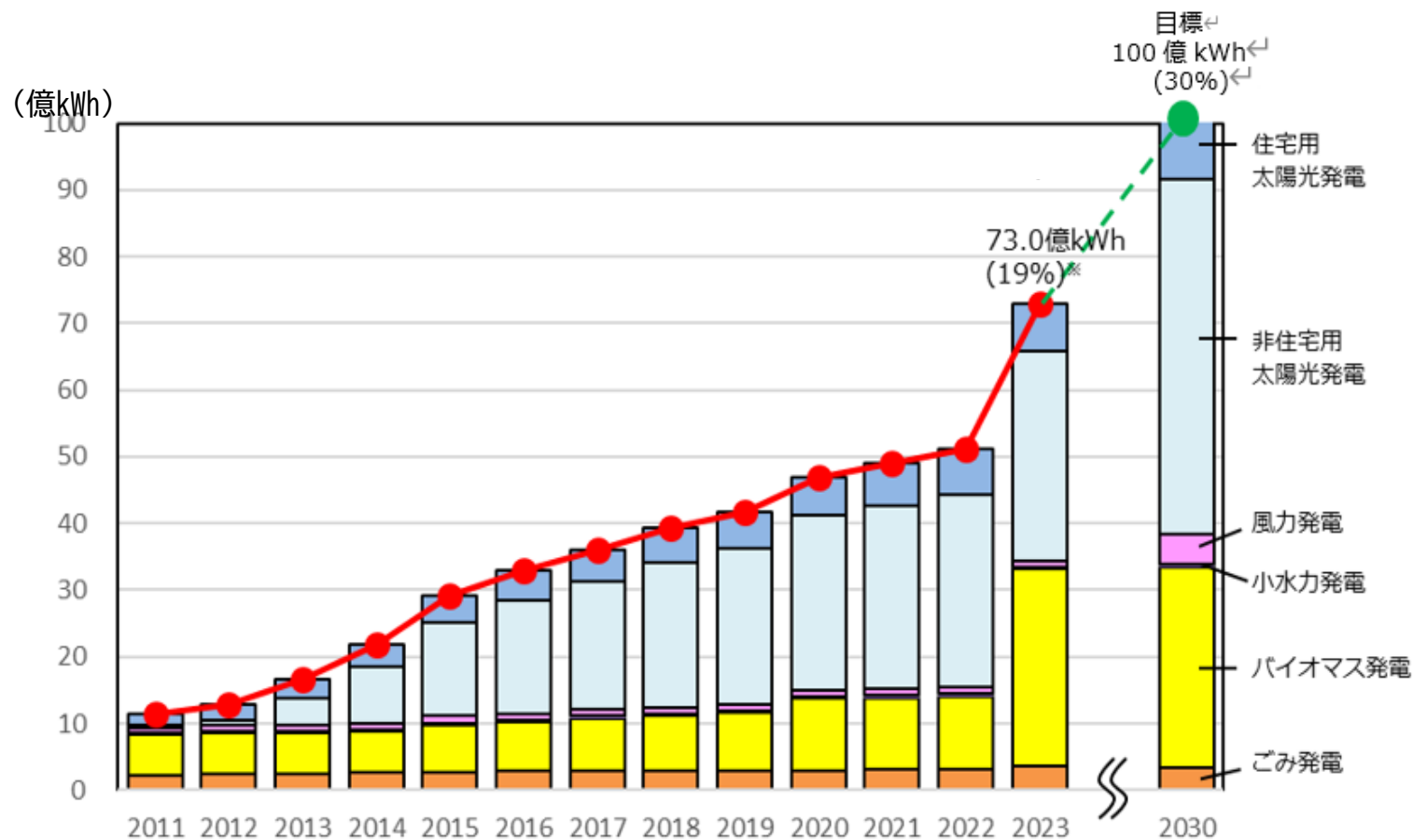


部門		2013年度 排出量 (kt)	2021年度	
			排出量 (kt)	13年度比 (%)
エネルギー起源 二酸化炭素	産業	47,952	40,502	▲15.5
	運輸	8,128	6,494	▲20.1
	家庭	8,364	5,745	▲31.3
	業務	6,815	4,256	▲37.6
その他		3,923	3,626	▲7.6
排出量		75,182	60,623	▲19.4

## 兵庫県の再生可能エネルギー導入状況

- 2023年度の再生可能エネルギーによる発電量は、約73億kWh。  
⇒県内の電力の使用量のうち、再エネでまかなわれている比率は約19%

7年間で27億kWhの再生可能エネルギーの導入を進める必要がある



# 太陽光発電施設等と地域環境の調和に関する条例の見直し

7

## 1 これまでの取組と見直しの経緯

- 太陽光条例施行（H29.7）移行、約300件の太陽光発電施設の事業計画書の届出を受理  
〈H31:70件（ピーク）→ R4:23件（減少傾向）〉
- 環境アセス面でも、法・条例に加え、小規模案件を対象とした県調査指針（R2.3）により対応〈10件/年程度〉



- 条例施行後6年を経過し、取り巻く状況に変化
  - ▲パネル崩落事故への不安
  - ▲生物多様性への関心の高まり
  - ▲パネルの廃棄問題の顕在化



- 本県の条例制定以降、他県でも条例制定の動きが広まり、国においても、FIT制度の改正等で規制強化



防災・環境面を中心とした  
条例改正により、全国的に  
もかなり厳しい規制へ

## 2 規制強化（条例改正案）のポイント

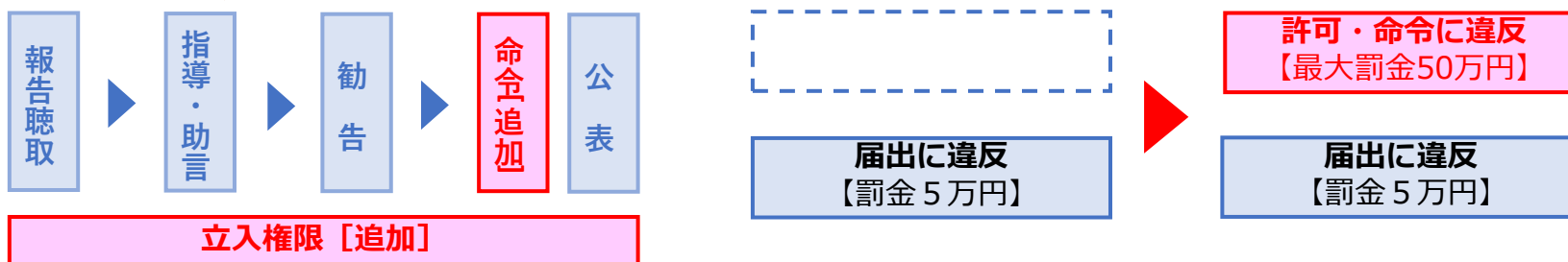
- (1) 防災面 → ①山林での設置に対する「許可制」の導入、②事前手続の義務化（森林法、盛土規制法）



- (2) 生態系 → ①「自然環境との調和」を条例目的に明示、基準の整備、②事前手続の義務化（環境アセス法令）

- (3) 廃棄問題 → ①「廃止後の適正な措置」を事業者の責務に追加

- (4) 実効性の確保 → ①指導権限の強化、②罰則の強化



刑事罰を科す  
のは本県のみ

## 本日の内容

1 本県の再生可能エネルギーの導入目標・現状

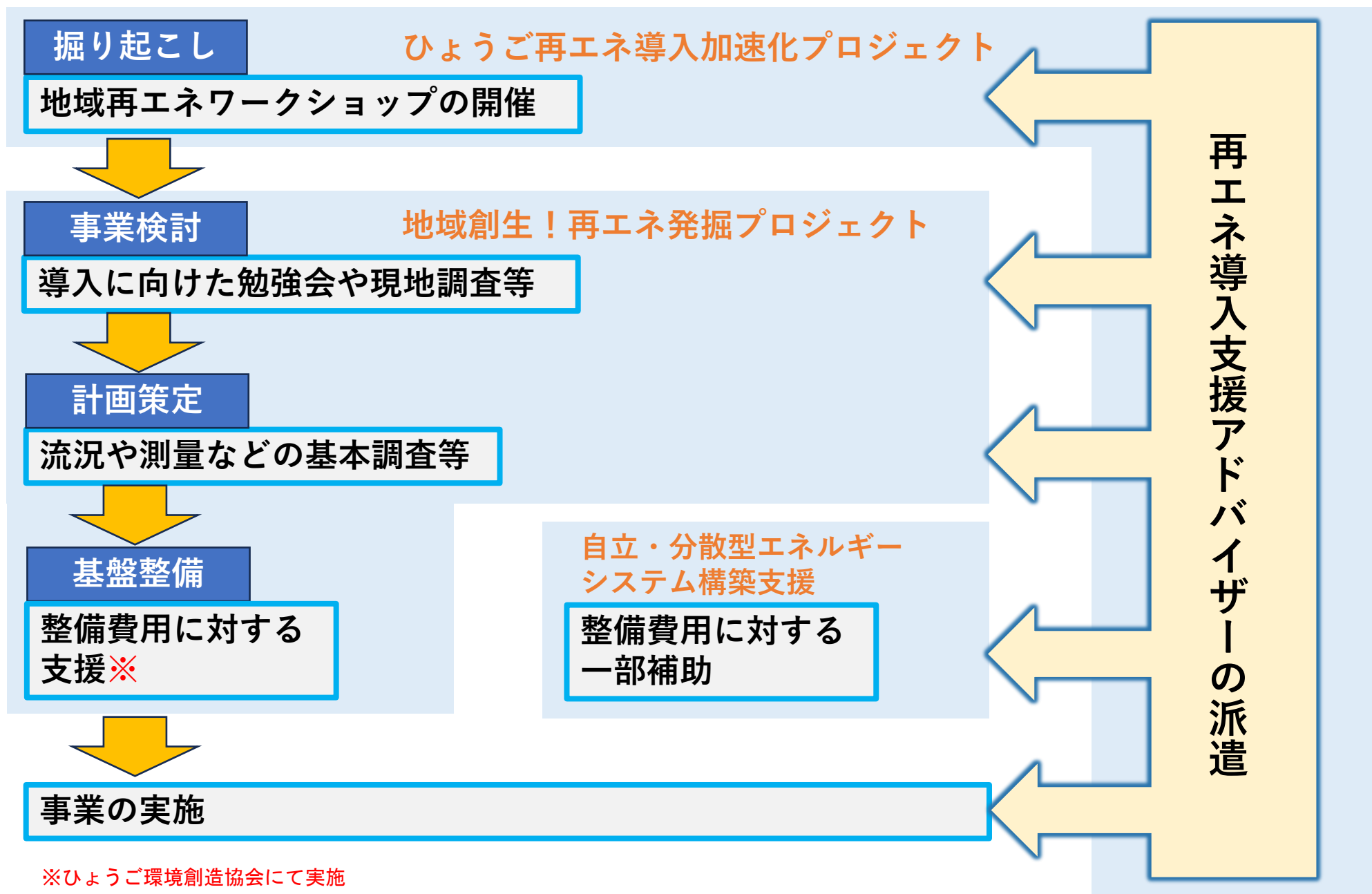
## 2 支援事業

(1) 地域創生！再エネ発掘プロジェクト

(2) ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト



## 地域資源を活用した再エネ導入支援スキーム



## 地域創生！再エネ発掘プロジェクト



小水力発電所（神戸市灘区六甲川）

- ①取水部（上空から）
- ②取水部（砂防ダム下）
- ③発電設備（全体）
- ④発電機本体

[R30基本調査等補助、R1無利子貸付 採択]



営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）  
（宝塚市内）

[H27無利子貸付 採択]

地域の活性化にも大きな期待が持てる地域資源を活かした再エネの導入を検討する  
地域団体等の事業立ち上げ時の取組等を支援。

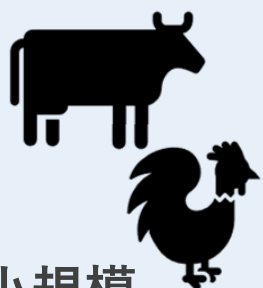
## 対象の再生可能エネルギー



小水力発電

水力を利用した発電であり  
定格出力

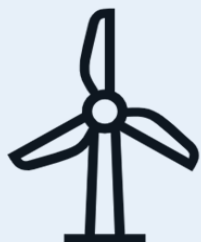
**1,000kW以下**  
のもの



小規模  
バイオマス発電

動植物等の生物から作り出され  
有機性のエネルギー資源を  
利用した発電であり定格出力

**2,000kW以下**  
のもの



小型風力発電

風の力を利用した発電であり  
定格出力

**500kW以下**  
のもの



太陽光発電

未利用地を活用した単純な  
野立て型や屋根置き型等以外で、

**全県的な  
先進モデル**

となり得るもの

例) 営農型 (ソーラーシェアリング)  
ため池 (水上設置)  
駐車場 (カーポート型) など



バイオマス熱供給

地域資源を活用した  
バイオマスによる熱供給  
(熱電併給も含む)

# 再生可能エネルギー補助事業

## ・対象事業

補助の種類	対象の取組	補助額
①立ち上げ時取組支援事業	事業化の検討に必要な経費 (例) 勉強会、現地調査、先進地視察等	30万円 (定額・上限)
②基本調査等補助事業	事業性評価に必要な調査経費 (例) 流況調査、測量調査、 既存設備劣化診断、地質調査、 生物調査、バイオマス賦存量調査、 風況調査	500万円 (補助率1/2)

## ・対象団体

再生可能エネルギーの導入による**地域活性化を推進する**  
以下の団体

- 活動の本拠地が兵庫県にあること
- 当該地域に根ざした活動をしていること
- 規約や代表者を決めていること
- 構成員が10人以上

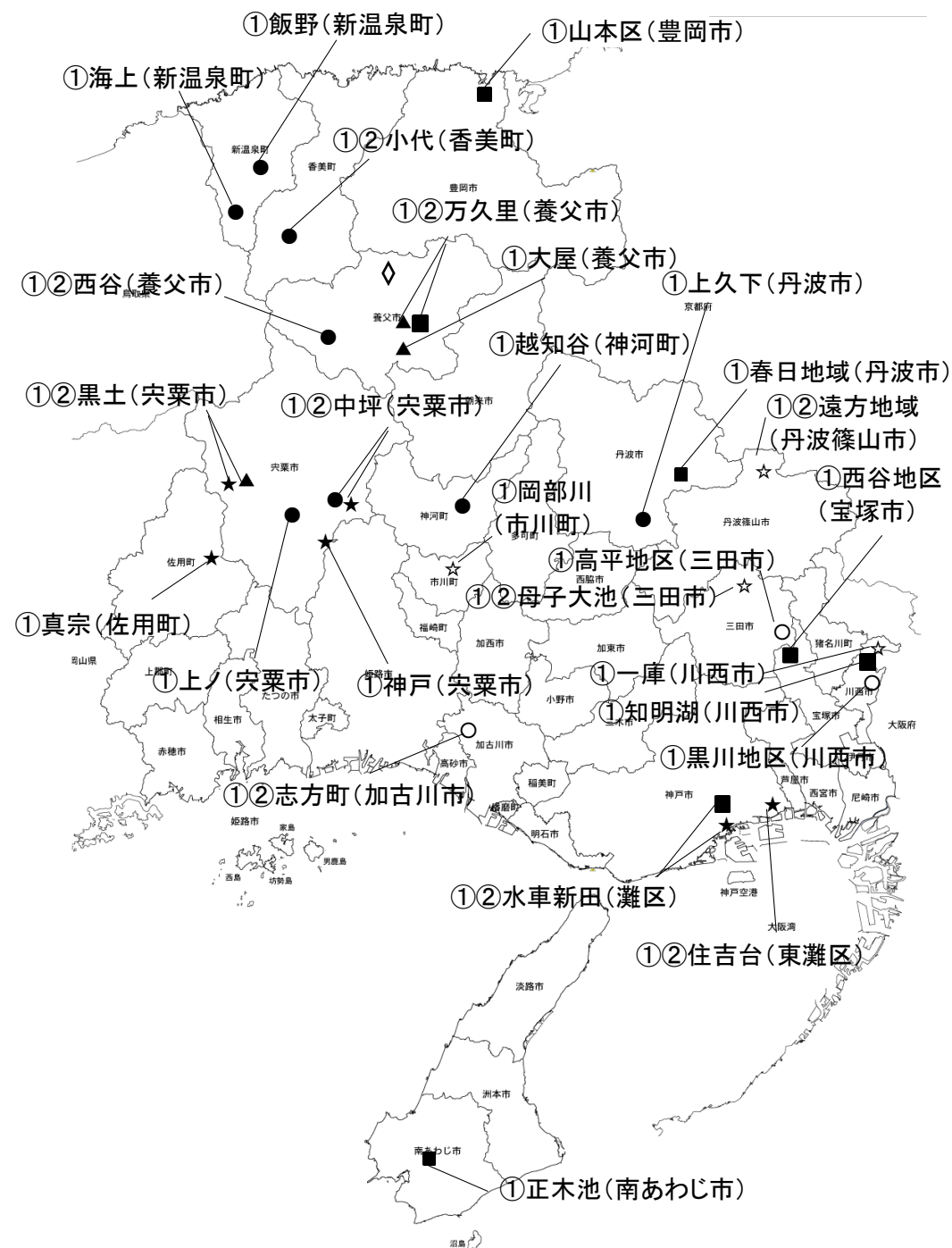


小水力発電の専門家による現地調査

# 再生可能エネルギー補助事業

## ・採択実績

年度	記号	①立ち上げ時 取組支援	②基本調査等 補助
H27	●	8件	2件
H28	★	5件	2件
H29	▲	2件	1件
H30	■	5件	2件
R1	○	3件	1件
R2	☆	4件	2件
R3	△	0件	2件
R4	□	2件	2件
R5	◎	1件	0件
R6	◇	1件	0件



## 本日の内容

1 本県の再生可能エネルギーの導入目標・現状

## 2 支援事業

(1) 地域創生！再エネ発掘プロジェクト

(2) ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト



# ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト

## 地域再エネワークショップの開催

地域における再エネ導入の効果や必要性などの理解促進のため、令和2年度より県内各地でワークショップを開催

## 過去の主な開催実績

開催年度	地域（開催場所）	テーマ・意見交換内容等
令和3年度	西播磨（宍粟市） Web併用	黒土川小水力発電所（宍粟市千種町）の関係者及び地域住民の団結力向上をはじめ、 <b>地域小水力発電</b> の機運醸成及び今後の導入推進等
令和4年度	丹波（丹波市） Web併用	地域で <b>木質バイオマス発電・熱利用</b> に取り組む際のポイントや、具体的な取組み事例の情報共有や今後の動きについて等
令和5年度	北播磨（加東市） Web併用	<b>ソーラーシェアリング</b> に関する基本的知識や取組事例を学びながら、持続可能な地域づくりについて考えあう



西播磨(R3.11.16開催)



丹波(R4.11.24開催)



北播磨(R5.3.14開催)

# ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト

## 地域再エネ導入支援アドバイザー派遣制度

地域において再生可能エネルギーを導入するにあたり、地域づくりや地域ビジネス、再エネ導入に関してノウハウのあるアドバイザーを派遣し、様々な助言を通じて再エネ設備導入を支援する。

- **申請主体**：「地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業」に取り組んだ実績がある団体  
再エネ導入を計画する団体（地域住民を主体とする団体やNPO法人）
- **派遣地域**：兵庫県内全域
- **費用**：講師謝金・交通費は県が負担（上限あり）

## アドバイス可能項目

分野	助言・支援の例	アドバイザー例
地域づくり	地域の現状や再エネ設備の活用方法について話し合う、ワークショップの企画助言や進行など地域合意形成の支援	・まちづくり支援団体（NPO法人等） ・地域再エネ導入団体 など
地域ビジネス	起業ノウハウや運営方法、ビジネスリスク分析などコミュニティビジネスの支援	・コミュニティビジネス支援団体(NPO法人等) ・起業家 ・地域再エネ導入団体 など
再エネ導入	再エネ導入や運営で直面した課題、対応策など体験談披露や地域へのアドバイス	・地域再エネ導入団体 ・地域新電力会社 など

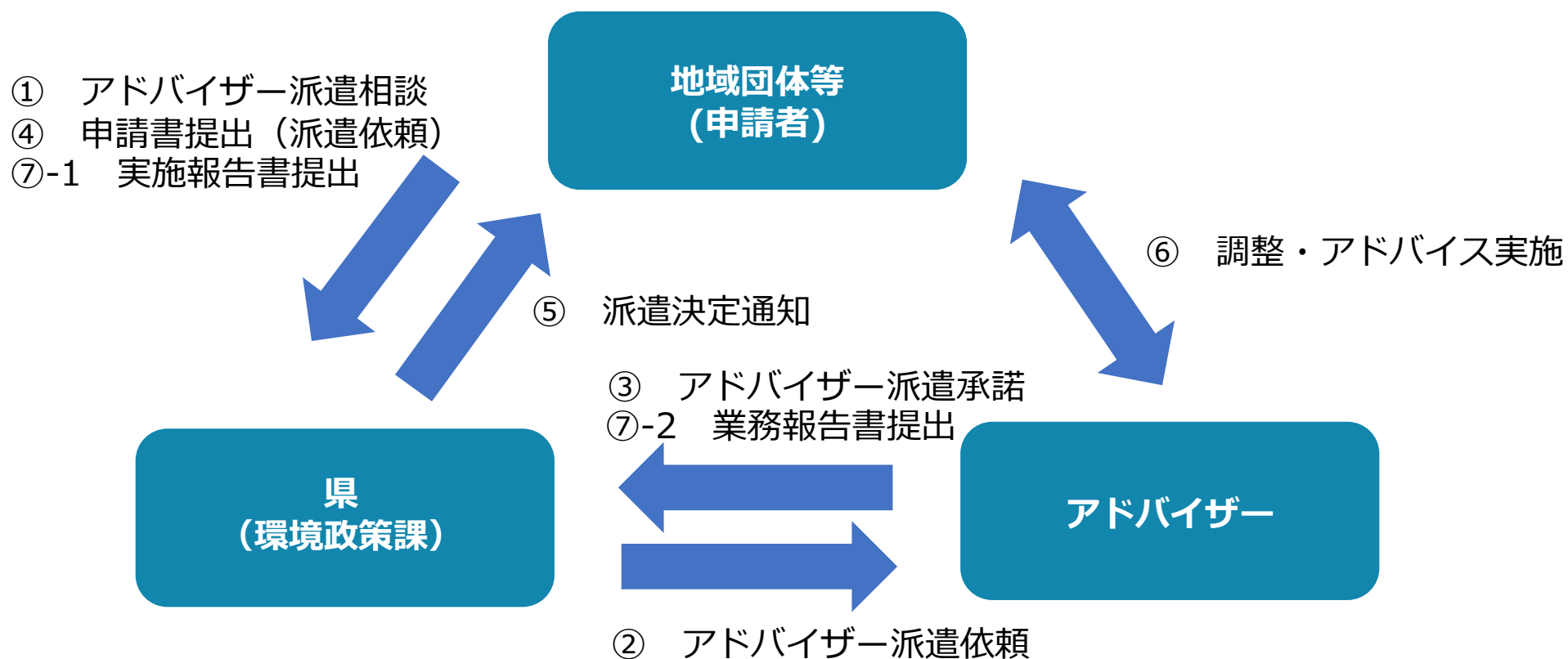
## 留意事項

- **派遣上限**：1名派遣時は2回まで、2名同時派遣時は1回まで  
ただし、ワークショップを継続開催する場合、1名派遣は4回、2名同時派遣は2回まで
- **派遣条件**：1回あたり5時間まで。2名同時派遣の場合、別分野のアドバイザーを派遣



# ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト

## 活用フロー



## 派遣事例

地域へのアプローチの仕方へのアドバイス、再エネ導入の基礎から運転始めまでの道筋について 等



兵庫県